

かすみがうら

第127号
 <毎月1日発行>
 ■発行所■
 霞ヶ浦医療センター
 かすみがうら編集部
 〒300-8585
 土浦市下高津2-7-14
 Tel 029-822-5050
 Fax 029-824-0494
 E-mail & Web Site
 kasumi@kasumi.hosp.go.jp
 http://kasumi-hosp.jp/

霞ヶ浦医療センター 健康フェスタバルを開催して

副総看護師長 松岡 宣代



< 当日の様子 >

本年4月、地元土浦市の支援によって、寄付講座「筑波大学附属病院土浦地域臨床研究ステーション」が開設されました。そこで、土浦市の皆様にかしらの地域貢献ができないかと考え、イオンモール土浦(以下「イオン」)の協力のもと、10月13日(土)に「霞ヶ浦医療センター健康フェスタバル」を開催いたしました。



< 準備中の様子 >

当日は、職員50余名の協力のもと、午前9時よりイオンに入店して準備を始めました。どのくらいの方が来場していただけたか不安でしたが、開店直後から当院のイベント会場を目指される方が多数みられ、一安心しました。

「赤ちゃん抱っこ体験」を計画しました。また、会場周囲には東日本震災に被災した国立病院機構いわき病院から、患者(約50名)を当院に受け入れた時の写真を紹介させていただきまし



< 血管年齢測定の様子 >

「骨密度測定」や「血管年齢測定」に、のべ960名の方が参加してくださいました。高齢者であるにも関わらず、20代の方もおられ、日頃の食・生活が大きく影響していることを実感しました。また、実年齢よりも相当高い年齢が出た方もおられ、今後の生活等の手助けとなるよう栄養相談をお勧めしました。

「栄養相談」では、相談者のみならず家族全員についての積極的な食事内容などの相談等をうけ、充実した楽しいひとときでした。「血圧測定」では、最近手軽に測



< 栄養相談の様子 >



< 血圧測定の様子 >

れる電子血圧計が多くなっておりますが、あえて昔からある水銀血圧計を使用し測定させていただきながら、日頃の生活習慣についてのお話やお薬相談等の紹介もさせていただきました。

「手洗い体験」では、日頃の手洗い方法に自信を持って参加された方も体験して「全然だめだったのよ、洗えてなかったわ」と意外に汚れが残っていることに驚かれています。これからインフルエンザの季節になりますが、あらためて正しい手洗いを知っていただける機会になったと思っております。

「AED体験」では、幼稚園年長さんから大人まで135名の方が体験され、見学の方も入れると180余名の方に参加していただきました。心臓マッサージでは、通常の人形と6か月児の人形の2体で体験していただき、より身近にAEDを知っていただけたと思っています。地域の皆様がこのように積極的に参加していただけたことに担当者一同とても感激しています。



< AED体験の様子 >

「赤ちゃん抱っこ体験」は、新生児と同じ体重の人形を用意いたしました。お子様のほか、子育てが終わった方々にも多く抱っこされ、「こんなに重かったかしら?」など懐かしさを感じさせる声がかげられました。人形とはいえ抱っこしている人々の表情は穏やかで言葉には優しさがあふれていました。会場のあちこちで抱っこ体験していただきましたが、私たち職員が逆にたくさんのお褒めと笑顔を分けていただきました。

健康フェスタバルに参加していただいた方々から「今まで気づかなかった。いつもやってたの?」「また、春にでもやって



< お薬相談の様子 >

くれればうれしいわ」「健康チェックになってよかった」などの声をいただきました。

昭和20年から土浦の高台に位置し、国立病院として名前を知られていると自負しておりますが、意外に東京医科大学茨城医療センターと間違える方が多く、これからは霞ヶ浦医療センターという病院を知ってもらえるよう、地元市民の皆様の身近にある病院として、さまざまな情報を発信していきたいと考えています。

終了時間間際までたくさんの方に参加していただきありがとうございました。



< 手洗い体験の様子 >

『病理診断』とは

研究検査科長 近藤 謙

「病理診断」とは何かご存じでしょうか。

あまり聞き慣れない方も多くかもしれませんが、意外と多くの方が関わったことのある「診断」です。たとえば、胃カメラ

ラ・大腸カメラで粘膜やポリープをとったとき、婦人科で細胞の検査をしたとき、皮膚や口の中のできものをとったときなどに病理診断が関わっています。また、手術をした場合も、多くは病理診断が関わっています。

では、病理診断とは一体なんでしょうか。

簡単に言うと、患者さんの細胞や組織(体の一部)から、病気が何であるかを診断することです。

近年、画像診断の精度の高まりや、医学に関連する様々な分野の学問の発展などによって、血液検査や画像診断のみで病気の診断がすることも多くなっています。しかし、腫瘍(できもの)の診断や、画像診断ではつきり診断がつかないような病気が



については、病理診断が重要な最終的な診断方法となっています。

ところで、内科の医師を内科医、婦人科の医師を婦人科医と呼ぶように、病理診断を専門にしている医師は病理医と呼ばれます。

ほかの医師と違って病理医は患者さんにお目にかかることはほとんどないので、病理医は皆さんから見ると謎の存在かもしれません。病理医・病理診断について知っていただくために、病理医が病理診断をどのようにしているか、その一部を紹介したいと思います。

病理診断で最も多い依頼は、病気が良性か悪性かを診断してほしい、ということなんです。言い換えると、癌(悪性)があるかないか、ということになります。

先ほど述べたように、病理診断では細胞や組織から診断をします。最終的には、病理医が顕微鏡で一つ一つの細胞を見て判断をしています。そのときの大きな基準の一つは細胞の顔つきが良いか悪いかです。

たとえば、「この細胞はいい顔つきだから良性だね」や、「こいつ(細胞)は見るからに悪そうだから悪性(癌)だ」とか、あるいは「この細胞は一見悪そうなお顔つきだけど、実はいいやつなんだよね。私は知ってるよ」というように

に判断しています。もちろん、そのときの病理医の気分次第で良性と悪性の判断がぶれてしまつては困るので、その基準というのは、過去の膨大な病理診断の歴史・経験に支えられています。



つまり、「胃がんではこういう細胞が見られます。こういう細胞があれば、胃がんと診断しましょう」ということがまともな専門書があり、それらを判断基準として診断が行われています。その中には、「このような細胞は悪性と間違えやすいが、実際は良性なので注意するように」などというものもあり、先ほどの「二見悪そうだけど…」というように見ても起こります。

また、おもしろいことに、臓器によってその良悪の判断基準が大きく異なることがあります。同じような顔つきの細胞がいても、胃でみられた場合は良性だが、大腸でみられた場合は悪性と判断する、というようなこともあります。

そのような判断基準の違いが起る理由は複雑で、その臓器の環境が大きく関わっているのですが、例えると、子供の頬が赤くなっている時に、冬の屋外なら「寒くて赤くなってるね」と微笑ましいだけで済ませますが、暖かい屋内だったら「熱があるんじゃない?風邪引いた?」と心配する様なものではないでしょうか。

医療の世界では、医師の専門分野の細分化が進んでいます。たとえば、内科医でも、多くの医師は消化器、呼吸器、循環器など、臓器ごとに専門分野を持つています。病理医は、病理診断をするという点ではきわめて専門性の高い分野ですが、臓器の点では逆で、すべての臓器の病理診断を行っています。複数の臓器に起る病気の診断などでは、病気の総合的判断のために幅広い知識が求められたり、各臓器の専門医師の橋渡しのよ

うな役割を担うこともあります。病理医は、外来や病棟などには現れない存在ですが、みなさんが病院で診断・治療を受けるときに大きな役割を果たしている縁の下の方力持ちです。病院紹介などで病理医の名前を見つけたら、縁の下の方力持ちがいると心強く思ってもらえれば幸いです。



<インフォメーション>

○電話予約の受付時間 (診療予約センターより)

電話番号 029-826-6471 (直通)
受付時間 平日 12時30分~16時まで

○MRI検査予約について (放射線科より)

当院では、MRI検査を休日に実施することができます。ご希望の方は、主治医にご相談ください。

○脳ドックのご案内 (放射線科より)

【土曜日・日曜日のみ実施しております!】

電話番号 029-822-5050 (代表)
(内線 3360)
料金 19,000円 (自費診療)

○禁煙外来のご案内 (呼吸器科より)

受付時間 水曜日: 13:30~ (完全予約制)
担当 呼吸器科医師 菊池 教大
費用 1クール通院5回 保険適応 (要件有り)
3割負担で合計6,500円程度
※初診の場合 (紹介状がない場合) は、別に3,150円掛かります。

〈公開市民講座のお知らせ〉

会場/地域医療研修センター講堂
日時/11月16日 午後2時~

『子宮頸がん検診について』
産婦人科医師 新井 ゆう子

〔11月集団指導のご案内〕
☆減塩教室 (第3木曜日)
午後2時~ 第4会議室

15日
『工夫して
おいしく食べよう!減塩食』
管理栄養士

2日
☆糖尿病教室 (第1~4金曜日)
午後3時~ 第4会議室

『簡単にできる
カロリー計算を身につけよう!』
管理栄養士

9日
『糖尿病とくすり』
薬剤師

16日
『糖尿病とは...
原因・症状・合併症など』
内科医師

30日
『妊娠と糖尿病』
産婦人科医師

予約の必要はありません。
お気軽にお越しください。

